

マンスリータイムズ

海南市立海南下津高等学校
8月号
平成25年 9月2日発行



45周年の紀州踊り「ぶんだら節」に参加！！

8月3日(土)、和歌山市の夏の風物詩「紀州おどり『ぶんだら節』」に参加しました。ぶんだら節は、江戸中期の豪商・紀伊国屋文左衛門が、荒波にミカン船を繰り出した意気と壮挙をイメージし、その名にちなんで名付けられたといわれます。本校の海娘たちは、第1部の「ニューバージョンぶんだら21」に登場しました。暑い日々が続く中、夏休み前から汗をかきながら練習を積み重ね、踊りの精度を上げていきました。その努力が実り見事な踊りを披露することができ、沿道を取り巻く人々から大きな拍手をいただきました。



第21回ふるさと海南まつり

8月13日(火)、JR海南駅前で開催される「ふるさと海南まつり」。例年、海南下津高校は「高校生カフェ」「出店」で参加です。今年は、さらにダンス同好会が創作ダンスをステージパフォーマンスとして披露しました。

当日は、朝から商品となるマドレーヌ作りで大忙し。午後からは、タナカビルでカフェを運営すると同時に、駅前の特設テントでも手芸用品やマドレーヌを販売しました。夕暮れには、ダンス同好会が国道370号会場で創作ダンスを披露し、充実した一日を終えました。



いざ、全国大会へ

ライフル射撃部(竈田菜々子さん、西谷美緒さん、堀端千浪さん)と瀧谷奈津希さんが全国大会に出場しました。

ライフル射撃部は、7月28日～31日まで広島県で開催された第51回全国高校射撃競技選手権大会に、瀧谷さんは、8月1日～3日まで長崎県で開催された第37回全国高校総合文化祭弁論部門に出場しました。また、ライフル部の西谷さんは、8月10日・11日に大阪で開催された第68回国民体育大会近畿ブロック大会にも和歌山県代表として参加しました。惜しくも入賞とはなりませんが、全国レベルの大会で優秀な成果を収めてくれました。



夏休み直前、1年生対象に特別講座

1年生対象に、外部講師による特別講座を実施しました。

7月8日に実施した性教育講座では、元小学校教諭の岡崎正子先生を講師に迎え、にエイズや思春期の心や体について、さらには今を大切にする生き方について教えていただきました。

7月22日には、和歌山県庁文化国際課交流委員でもあるイ・ジョンミン先生を迎えて「韓国講座」を開催しました。韓国の社会や日本との文化の違い、また、韓国の歌「故郷の春」を本校職員が披露するなど異文化についての理解を深めることができました。



韓国語講座